

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例15

< 事例概要 >

- ・ 70歳代、肝細胞癌の患者。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有。
- ・ 原因薬剤は、 β -ラクタム系抗菌薬（ワイスタール）。治療室へ搬送中に発症。
- ・ 過去に β -ラクタム系抗菌薬（ワイスタール）を使用し、アレルギー症状の出現無。
- ・ 抗菌薬の点滴を開始し、治療室へ搬送中、顔付近の違和感が出現。初発症状から4分後、医師へ報告、手指の違和感、顔面紅潮を認めた。8～9分後、心電図モニター上ST上昇を認め、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）測定不能、JCSⅢ。薬剤投与を中止し、アドレナリン0.1 mgを静脈内注射。副腎皮質ホルモン製剤とアドレナリン0.2 mgを静脈内注射。13分後、頸動脈触知不能となり救急処置を実施するが、約3時間後に死亡。